

⑬ Int.Cl.⁴

H 04 M 1/23

識別記号

庁内整理番号

7251-5K

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月12日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 電話機

⑯ 特 願 昭59-8821

⑰ 出 願 昭59(1984)1月20日

⑱ 発 明 者 長 島 清 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

電話機

2. 特許請求の範囲

押しボタン式ダイヤルの各押しボタンに発光素子を内蔵したことを特徴とする電話機。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は電話機に関する。

(従来技術)

従来、電話機において、短縮ダイヤル等の内部データの表示には前記データを表示する7セグメント素子等を電話機に取り付けて表示をしていた。従って前記部品の取り付け場所を必要とし、また前記部品が高価であるため、前記部品を取り付けた電話機も高価になる欠点があった。

(発明の目的)

本発明は前記データの表示をダイヤルに内蔵した発光素子の組み合わせにより行うことにより上記欠点を解決する電話機を提供するものである。

(発明の構成)

本発明によると押しボタン式ダイヤルの各押しボタンに発光素子を内蔵したことを特徴とする電話機が得られる。

(実施例)

次に本発明の実施例について図面を参照して説明する。第1図は本発明電話機を用いてデータを表示する時のブロック図で、電話機の内部データ1を制御回路2の制御によりダイヤル内蔵発光素子3を点燈、点滅、消燈等させ、その組み合わせにより数字、英文字等を表示する。

第2図は本発明電話機の押しボタン部分の一実施例の正面図を示し、ダイヤル1、2、3、4、5、6、7、8、9、0、＊、＃を収容するダイヤルパット21と機能ボタン22、23、24により構成されランプはすべてのダイヤルパット21と機能ボタン22、23、24に内蔵されて

いる。第2図はランプがすべて消燈している状態を表わしている。

第3図はダイヤルパッド21のボタン4, 1, 2, 3, 6, 9, 井と機能ボタン24を点燈させて数字の7を表示している。

第4図はダイヤルパッド21のボタン4, 7, 井, 2, 6, 9, 井, 8と機能ボタン22, 24を点燈させ英文字のAを表示している。

第5図はダイヤルパッド21のボタン1, 4, 7, 井, 2, 3, 8, 9と機能ボタン22, 23, 24を点燈させ英文字のEを表示している。

(発明の効果)

本発明は以上説明したようにダイヤル内蔵の発光素子による表示により、大きくて見やすく、特別に場所も必要とせず、電話機の製造価格を安くする効果がある。

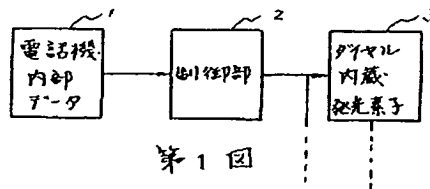
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明電話機を用いてデータを表示する時のブロック図、第2図は本発明電話機の押し

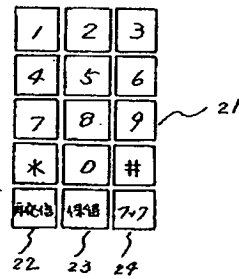
ボタンダイヤルの一実施例の上面図、第3図～第5図はその表示状態を示す上面図である。

1……電話機内部データ、2……制御回路、3……ダイヤル内蔵発光素子、21……ダイヤルパッド、22, 23, 24……機能ボタン

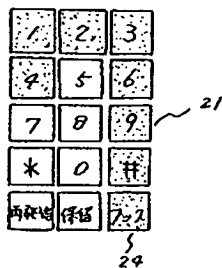
代理人 弁理士 内 原



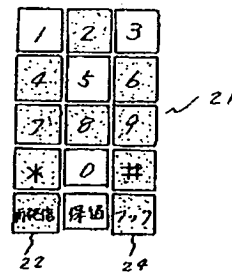
第1図



第2図



第3図



第4図



第5図